

【兵庫県】「ふるさとひょうご寄附金」事業

阪神・淡路大震災から30年。震災の教訓を未来へつなぐ
能登半島地震から1年 兵庫県から始まる新たな寄附のカタチ
「HYOGO .1 BOND（ひょうごポイントワンボンド）」
集まった寄附金（売上の0.1%）を被災地（石川県珠洲市）へ届けました。

株式会社大津屋が代表企業を務める「HAQTSUYA」（ハックツヤ）は、2024年春より「ふるさとひょうご寄附金」事業を兵庫県から受託し、「ひょうごHAQTSUプロジェクト」を立ち上げました。そのプロジェクトの一環として、昨年9月より兵庫県への返礼品提供事業者の有志の協力を得て、ふるさと納税と連動した新たな復興支援「HYOGO .1 BOND」*（ひょうごポイントワンボンド）を開始しました。この事業により、2024年12月までに集まった寄附金と、ひょうごHAQTSUプロジェクトからの寄附金を合わせ、2024年1月に発生した能登地方を震源とする地震で被災された被災地の方々への支援や被災地の復興に役立てていただくために、義援金として石川県珠洲市にお届けしました。

尚、寄附先として、今回珠洲市を選定した理由は、兵庫県が関西広域連合の広域防災局担当として、カウンターパート方式により珠洲市を担当し、職員派遣等を通じて支援活動を行ったことにより、県と市の間での交流が深まったためです。

※HYOGO .1 BOND（ひょうごポイントワンボンド）の概要

2025年1月17日に発生から30年を迎える阪神・淡路大震災を経験した兵庫県だからこそ、今様々な自然災害で被害を受けている事業者への復興支援として、「ひょうご HAQTSU プロジェクト」で返礼品提供事業者を有志で募り、売上の0.1%を被災地に寄附する取組を開始しました。タスク名は兵庫県と被災地をつなげる「絆（BOND）」を表現。また、この義援金の単位は売上の「0.1%（.1）」として参加しやすいパーセンテージとし、「絆の積み重ね」が大きな支援になってほしい、という願いを込めています。2025年1月現在、参加する返礼品提供事業者は50社まで増え、今も多くの事業者から賛同の意向をいただいています。今後も皆さまからのご寄附を通じた兵庫県への応援が、被災地への応援へつなげる取り組みを拡大してまいります。

■石川県珠洲市の寄附先窓口に関する詳細については、以下リンクからご確認いただけます。

<https://www.city.suzu.lg.jp/site/bousaisuzu/11594.html#saigai>

HYOGO .1 BOND : <https://gohoubi-mall.com/one-bond/>

HYOGO .1 BOND 賛同事業代表者及び、HAQTSUYA代表コメント

株式会社VINSEMBLE 代表取締役 松井 秀人氏

1995年1月17日に阪神・淡路大震災で多大な被害を被った兵庫県。その際様々な方の支援もあり、兵庫県は復興を遂げました。私自身も兵庫県で生まれ育ち、兵庫県で飲食事業やスイーツ事業など、様々なお仕事をさせて頂いているのは、復興を支援して頂いた皆様のお陰だと感じております。昨年1月に起きた能登半島地震でも多くの方が被災しており、まだまだ復興が進んでない状況はニュースなどでよく耳に入ってきておりました。

個人的な支援はさせて頂いた事はあるのですが、継続的な支援も必要だと常々感じていた所に今回のひょうごHAQTSUプロジェクトのお誘いがありました。今回ひょうごHAQTSUプロジェクトには、少しでもあの時のご恩を返すことが出来ればという想いもあり参加させて頂きました。当社単体で出来る事は限られています。ですが、大きなプロジェクトとして立ち上げて頂き、参画できたことに感謝しております。兵庫県のふるさと納税の返礼品提供事業者に参画したのが昨年9月ですので、今後とも継続的にひょうごHAQTSUプロジェクトへの協力は継続していきたいです。被災地の復興の速度が少しでも加速する事を願っております。

株式会社大津屋 代表取締役社長 小川 尚樹 氏

「HYOGO .1 BOND」は、阪神・淡路大震災から30年を迎える兵庫県が「忘れない、寄り添い続ける」ことの大切さを形にするために始めた取り組みです。この活動には、皆さまからの寄附額の一部が支援として被災地に継続的な励ましを与え、災害の記憶を風化させず未来へ伝えるという願いが込められています。小さな行動の積み重ねが大きな絆となり、支援の輪が広がることを目指しています。参加いただいている事業者の皆さまと共に、この取り組みが被災地への温かなエールとなるよう、引き続き力を尽くしてまいります。



▶カヌレの宝石箱
【アフタヌーンティーBOX1/2】30個入
(VINSEMBLE / 寄附額17,000円)

「HYOGO .1 BOND」賛同事業者一覧（五十音順・1月7日 時点）

淡路島オニオンクラブ（洲本市）	有限会社神戸シェルブール（三木市）	株式会社播（西脇市）
株式会社伊勢屋本店（姫路市）	COTO no ILOR SHIRT（神戸市）	株式会社VINSEMBLE（神戸市）
株式会社イトー屋（芦屋市）	株式会社財木商店（神戸市）	株式会社半歩（豊岡市）
株式会社今井ファーム（淡路市）	株式会社THE HERBS（芦屋市）	フィードバッグ（豊岡市）
江井ヶ嶋酒造株式会社（明石市）	株式会社三田屋本店（三田市）	株式会社福壽堂本店（姫路市）
エム・シーシー食品株式会社（神戸市）	株式会社善太（南あわじ市）	藤原染工株式会社（西脇市）
株式会社岡田コーヒーストア（三木市）	株式会社タニカツ（豊岡市）	株式会社ブランティエ（芦屋市）
片岡農園（姫路市）	元祖ぎょうざ苑（神戸市）	株式会社フローラルアイランド（淡路市）
株式会社カネリョウ商店（香美町）	有限会社ティーアンドエムズ（豊岡市）	Borage（多可町）
株式会社共進舎牧農園（神戸市）	Devin（養父市）	有限会社 ムッシュ（姫路市）
桑村繊維株式会社（多可町）	develop（南あわじ市）	株式会社名産神戸肉旭屋（高砂市）
有限会社啓（神戸市）	株式会社寺尾製粉所（姫路市）	株式会社盛商（姫路市）
株式会社ケンちゃんファーム（南あわじ市）	有限会社ナガオビルメン（洲本市）	モロゾフ株式会社（神戸市）
株式会社香茶園（姫路市）	和み工房（丹波篠山市）	株式会社リアル（神戸市）
上月アグリファーマ株式会社（佐用町）	株式会社西村屋（豊岡市）	有限会社六甲味噌製造所（芦屋市）
株式会社神戸グルメ（明石市）	株式会社西村屋フードコネクト（神戸市）	ONE BEANS（丹波篠山市）
神戸酒類販売株式会社（神戸市）	有限会社花光.com(洲本市)	

■五宝美おせちの売上の一部を「緑の募金」へ寄附いたしました。

ひょうごの五宝美シリーズ第四弾として返礼品に登場した「五宝美おせち」は、兵庫県の森林整備から生まれた、県産の間伐材を使用した割箸付き（NPO法人バイオマス丹波篠山より提供）で、自然環境に配慮したおせちです。また、返礼品の売上の一部を『緑の募金』に寄附する取り組みも行いました。この度、売上の一部を『緑の募金』へ寄附しましたのでご報告申し上げます。

■緑の募金とは

緑の募金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」（平成7年法律第88号）にもとづき、森林整備等の推進に用いることを目的に募集する寄附金制度です。

兵庫県で公益社団法人 兵庫県緑化推進協会が募金取扱団体となり、森や緑を守り、育て、そして未来につなげる取組として、森林ボランティア活動の支援や森林環境教育などに活用されています。

緑の募金URL→ <https://hyogo-green.net/donation02.html>

■「ひょうごHAQTSUプロジェクト」概要



「ひょうごHAQTSUプロジェクト」は、HAQTSUYA（大津屋・博報堂）・博報堂プロダクツ・朝日新聞社の4社共同コンソーシアムで、2024年4月より始動し、「ふるさとひょうご寄附金」事業を受託しています。

ブランディング戦略として「兵庫はニッポンの宝庫」というキーワードを設定。兵庫県は「日本の縮図」と呼ばれており、日本の「いいところ」「いいもの」「いい味」が凝縮され、魅力が詰まっています。なんでも揃っている、ということ「宝庫」という言葉で表現しています。

また、兵庫県は、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の個性豊かな5つの地域からできており、これらの5つの地域を「五つの宝庫」と捉え、各エリアの魅力を発掘した返礼品の開発に取り組んでいます。

■HAQTSUYAについて

博報堂（HAKUHODO）と大津屋（OTSUYA）。

両社の間に“Q”を掲げることで誕生したのが

ふるさと納税中間業務をはじめとした

各地域の隠された価値を発掘する「HAQTSUYA」（ハックツヤ）です。

博報堂が持つ社会課題解決力やネットワーク力と大津屋が持つふるさと納税における知見やノウハウを活かし

その地域の魅力はなにか？ どうすれば最大化できるのか？

そんな Question（問い）を、チーム一丸となって Quest（追求）します。

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

HAQTSUプロジェクト事務局（株式会社大津屋内）

TEL:050-3786-1996（担当：畑、今本）※平日：09：30-17：30 土日祝：休み

e-mail：haqtsuya@hakuhodo.co.jp